

医療通訳 役割知って

ベトナム人 中学生出演 NPOがDVD制作

3日にセミナー

長田区

長田区に活動拠点を置くNPO法人「多言語センターFACILE(ファシル)」が、医療通訳

ベトナム人中学生や診療所の医師が出演し、現場の声をレポート。3日のセミナーでお披露目される。

年11月には外国人患者への対応方法を解説する医療関係者向けガイドブックを計5千部発行した。映像は12分で、長田区

の現状や課題について紹介するDVD「病院に通訳がいたらいいのにな」神戸のベトナム人中学生編」を制作した。同区の

同法人は1999年の設立で、生活情報の翻訳や通訳者の派遣に取り組む。2003年から医療通訳事業に乗り出し、10

のベトナム人中学生2人が登場。一緒にカラオケに行きたいが、日本語が話せない母親の通院に付き添わなければならない



DVDとガイドブックを手にするメンバー＝長田区海運町3

神戸

火事や事故の速報、写真・映像提供、身近な話題、生活情報を下記へご連絡ください。

本社社会部

〒650-8571
神戸市中央区東川崎町1-5-7
TEL:078-362-7040
FAX:078-360-5501
e-mail:kobe-ban@kobe-np.co.jp

北神支局

TEL:078-741-5814

読者サポートセンター (月～土) 10:00～17:30
TEL:078-362-7056

1. そんな悩みを打ち明ける場面から始まる。さらに医療通訳者、患者、医師がそれぞれの視点から実話を交えて課題を説明。医療通訳やその支援事業の必要性を訴える。同法人代表の吉富志津代さん(55)は「日本の地域医療には、言葉の不自由な外国人が安心して診

療を受けられない現状がある。医療関係者側も、もっとコミュニケーションが上手になってもいい」と話している。

セミナー「医療通訳とメディカルツーリズム」は地域医療の視点から3日午後2～5時、国際健康開発センター(中央区脇浜海岸通1)で。神戸夙川学院大の松尾信昭教授の講演がある。無料。同法人 ☎078・736・3040 (大月美佳)